

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 南平井保育園

テーマ「 自然 」



私達の保育園は、実のなる木が多く、四季の自然を身近に感じられる環境があります。この豊かな自然環境を生かしながら、子ども達の「さわってみたい」「これなんだろう」という気持ちを引き出し、自然の中で五感を使って夢中になって遊んでほしいという思いでこのテーマにしました。



裸足であそぼう

春、夏は砂、泥、絵の具の上を裸足で歩いて、足の裏で感触を楽しみました。



「ぬるぬるするね」
「あしのうらが、くすぐったいよ」

「つめたくてきもちいいね」
「あしのかたち、おもしろいね」



落ち葉プール

秋には、園庭がたくさん落ち葉でいっぱいになります。子ども達と落ち葉を集めて落ち葉プールを作りました。

「いろんなかたちがあるね」
「きいろとちやいろがあるよ」
「カサカサっておとがするよ」



「ねころんたら、きもちいいよ〜」

「はっぱのおふとんだ」



自然物に触れることで得られる子どもの発見や気づきに保育者が驚かされる事も多かったです。保育者自身が、子ども達と同じ目線で発見の喜びや驚きに共感し、その気づきを周りの子ども達に発信することで新たな好奇心や発見への意欲を持つことにつながりました。

保育士の働きかけで子ども達の興味の幅が広がっていく事を再認識することができました。これからも安全面に気を付けながら子ども達が自発的に遊びを展開できる環境作りを工夫していきたいと思えます。

